

新着本
情報

公民館図書室 今月のおすすめ



地方メディアの逆襲
松本 創 / 著
筑摩書房



挑戦
山中 伸弥・藤井 聡太 / 著
講談社



暮らしの民藝
萩原 健太郎 / 著
エクスナレッジ



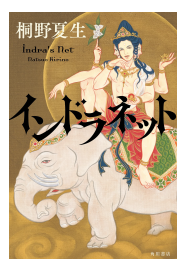
いつでも
君のそばにいる
リト@葉っぱ切り絵 / 著
講談社



ニワトリと卵と、
息子の思春期
繁延 あづさ / 著
婦人之友社



はなちゃんのみそ汁
青春篇
安武 信吾 / 著
文藝春秋



インドラネット
桐野 夏生 / 著
KADOKAWA



むき出し
兼近 大樹 / 著
文藝春秋



ブラックボックス
砂川 文次 / 著
講談社

第166回
芥川龍之介賞
受賞作

大桑村公民館図書室（村民体育館 横）

開室時間 平日 9時～17時/18時～20時 休日 9時～17時

※ 18時以降に図書室を利用される場合、体育館窓口へお申し出ください。



生涯学習情報「まなびましよう」は大桑村のホームページにカラーで掲載しています。
掲載内容に関するお問合せは 大桑村教育委員会生涯学習係 0264-55-1020



令和3年度 生涯学習情報

まなび ましよう

12号

令和4年3月10日発行

大桑村教育委員会・大桑村公民館

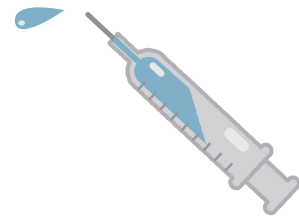


お知らせ

村民体育館の利用について

村民体育館は、3回目のコロナワクチン接種会場となるため、下記の日には利用できません。
ご理解ご協力をお願いします。

日程 3月12日(土)
13日(日)
19日(土)



募集

令和4年度 ゴールデンシュール運動 参加者募集

ゴールデンシュール運動とは、昭和53年から実施している大桑村独自の健康づくり運動です。「自分の健康は自分で守る！」をモットーに、体力に応じて、村内を歩いています。

お問い合わせ

福祉健康課保健係
☎ 0264-55-4003



図書館準備室便り

図書館長 平中和司



月曜日の朝、宅配便が何箱もの新図書館の本を届けてくれます。それを開封して、分類(ジャンル)ごとに並べ、納品リストと照合。それから箱に詰め直して、開館までの保管場所に搬入。これが毎週の仕事となっています。

絵本は1冊1冊の大きさ(判型)が違っており、特に、箱に詰め直すときは一苦勞です。横長のものもあれば縦長のものもあり、本棚に収まりきらないほど大きな絵本もあります。

現在の図書室でも、絵本の整理には苦勞させられています。うっかりすると、小さな本が大きな本に埋もれてしまったりもします。

つい「どの本も同じ大きさにしてくれれば楽なのに。」と思ってしまいます。でも、絵本はその判型、大きさそのものが表現の一つ。大きな画面いっぱいに描かれた絵が、子どもたちに世界の広さを伝えてくれます。木の高さや地下の深さを表現するために、あえて縦長で作られた絵本もあります。

さらには、どこで読まれるのか、誰が読んでくれるのかまで考えて作られてもいます。おうちの人の膝の上で読んでもらう、教室で先生に読んでもらう、自分でテーブルに広げて読む…そのためにどんな大きさにしたら良いのか、ページをめくるタイミングはどうすればいいのか、考え抜かれて作られています。

現在、出版業界は電子書籍化が進んでいます。長野県内の図書館が協働で電子図書館を導入しようという動きも進んでいます。これで、本を読むことは一層便利になるでしょう。

でも、やっぱり、絵本は実際に手に取ることのできる冊子形態のものを大切にしたいと思います。

子どものときに会った絵本は、紙の質感や読んでくれた人の声、そして表情までを含めて記憶に残ります。それがゆっくりと心の底に積み重なって、豊かな人間性を育ててくれるのではないのでしょうか。

新しい図書館のたくさんの絵本。ぜひ、手に取って読み聞かせをしてあげてください。